

Press release
報道関係各位

2019年6月4日
ミツイワ株式会社

ミツイワは「Interop（インターロップ）Tokyo 2019」に
EDA コンソーシアムの会員として自社ブースを出展します

～当社オリジナルの「エンジニア自動手配システム」を展示～

ミツイワ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：羅本礼二、以下ミツイワ）は、2019年6月12日（水）～14日（金）に幕張メッセ（千葉県千葉市）にて開催される「Interop Tokyo 2019」の EDA コンソーシアムのブースにて「エンジニア自動手配システム」を展示します。同手配システムは、米 VANTIQ 社のイベント・ドリブン型アプリケーション開発プラットフォームを使って開発したミツイワオリジナルのシステムです。このシステムによりミツイワが実現した、エンジニアの手配にかかる時間・コストの削減事例の紹介を通し、来場されたお客様に向けて対応のスピードアップ、省力化、省人化、人手不足等の問題解決の提案を行います。

また、6月13日（木）午後 13:15～13:55 には米 VANTIQ 社の CEO、Marty Sprinzen（マーティ・スプリンゼン）氏が、「リアルタイムが成功の鍵、デジタルトランスフォーメーション ～ SQL を作った男が語る、EDA とは ～」というタイトルで基調講演を行います。こちらも併せて奮ってご参加ください。

- Interlop Tokyo 2019 の開催概要

会期：6月12日（水）～6月14日（金）

会場：幕張メッセ ホール 4～6 ホール（※EDA コンソーシアムのブースはホール 5 にあります。）

主催：Interop Tokyo 実行委員会

オフィシャルサイト：<https://www.interop.jp>

展示会入場料：5,000 円（ただし、Web からの事前登録または招待券持参により無料）

なお、展示会・基調講演への参加には事前登録が必要です。

上記オフィシャルサイトよりお手続きください。

- EDA コンソーシアムについて

日本が提唱する「Society5.0」および「データ駆動型社会」の効率的な実現を目指し、従来の蓄積型データベース処理と、リアルタイム型イベントドリブン処理を使い分けられるように、EDA（Event Driven Architecture）技術の推進および普及を目的として、2018年11月に設立された団体です。ミツイワも会員として設立当初から参加しています。詳しくは <https://www.eda-consortium.jp/> をご覧ください。

- VANTIQ について

米国シリコンバレーに本拠地を置くリアルタイム・アプリケーション・プラットフォームを提供する IT 企業。同社が提供するア

アプリケーション開発プラットフォームは、ユーザーが IoT、コネクテッド製品、ソーシャル、エンタープライズ記録システムや人々からのデータストリームで駆動するリアルタイム・エンタープライズ・アプリケーションの開発、導入、実行を可能にします。2017年7月に日本市場に参入しました。ミツイワとは2018年10月に業務資本契約を締結しています。詳しくは <https://vantiq.jp/> をご覧ください。

<ミツイワ株式会社について>

ミツイワ株式会社（所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-15-6）は、1964年7月の創業以来50年以上に渡り、お客様ニーズへの対応を積極的に図りながら、ICTシステムにおいては企画、構築からサポートまでトータルに対応できる体制を築いてきました。1981年の電子デバイス事業への進出以降、ICTサービス事業と電子デバイス事業を2つの柱にお客様とともに成長し、それぞれのフィールドで多くのお客様から厚い信頼を頂いています。近年では、スマートファクトリー事業、IoTソリューション事業、エネルギーソリューション事業の展開など新規分野へも積極的に取り組み、さまざまな企業規模、業種のお客様に向けて包括的なサービスを展開しています。

詳しくは <https://www.mitsuiwa.co.jp/> をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

ミツイワ株式会社 総務部 広報チーム

TEL（代表）：03-3407-2181

お問い合わせフォーム：<https://www.mitsuiwa.co.jp/inquiry/>